

## 山形県農林水産部指定管理者審査委員会（令和6年度第3回）の概要

### 1 日時

令和6年8月7日（水）13時30分～14時40分

### 2 会場

山形県庁12階 1201会議室

### 3 出席委員

中野 憲司 委員長、石垣 肇之 委員、高橋 和典 委員、吉原 元子 委員、小畑 義一 委員

（福井 克 委員については、申請団体である公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構の評議員を務めていることから、設置要綱の規定により除斥）

### 4 公開・非公開の別

非公開と決定

### 5 審査内容及び質疑概要

#### （1）第一次審査（応募資格に関する適格検査）

事務局が事前に申請書類を調査した結果、募集要項に定める書類・資格・要件が備わっている旨を報告。併せて、委員長が各委員に対し、失格事項のうち「審査委員会の委員に個別に接触したとき」に該当しないことについて確認。それらの結果、申請団体は、選定基準に適合しているものとされた。

#### （2）第二次審査（基本事項に関する適格検査、申請団体によるプレゼンテーション、提案内容審査）

第二次審査の方法について了承され、申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答の後、審査を行った。

#### <申請団体との主な質疑応答、意見等>

○アンケートや日常的なコミュニケーション等を通じ利用者ニーズの把握取り組んでいるとのことであるが、それを踏まえ、利用者拡大や満足度の向上に向け新たに取り組んできたこと、今後取り組みたいことは何か。（委員）

●周辺で食事をとれる施設がないという声を受け、イベント時にキッチンカーを設置し、長く施設に滞在してもらえるよう取組みを行ったほか、キャンプ体験をしたいという声を受け、「森の教室」のプログラムの一部で、親子で参加できるデイキャンプ体験を実施した。

また、広報活動を強化して欲しいという声を受け、インスタグラムによる情報発信やタウン誌に県民の森の情報を定期的に載せてもらうなどの取り組みを実施している。（申請団体）

- 緊急時の対応について、マニュアルを整備しているとのことであるが、緊急事態が発生したときにすぐ動けるよう日常的なトレーニングや研修は行っているか。(委員)
- 年度当初、日本赤十字社の協力を得て、職員等を対象に救命時の対応やAEDの扱いについて研修を行っている。  
また、万が一事故が起こった際は、保険会社と連携しアフタフォローも含め利用者に対し丁寧に対応するようにしている。(申請団体)
  
- 業務報告のアンケートを見ると利用者層が10代未満と30～40代の親子層中心となっているが、利用者が少ない20代や50代以降に向けてどのようなアプローチを行っていきたいと考えているか。(委員)
- 子育てが終わり、平日でも時間に余裕があるような世代に向けては、バターナイフなど大人向けの実用的な木工クラフト教室などを開催し、施設の良さを分かってもらうほか、「大人の遠足」などのプログラムを行っていく。  
若い世代に向けては、森林の中でのヨガ体験などを行うと人気があることから、同様の講座の実施も検討していきたい。  
また、50～60代の利用者は、リピーターが多いことから、ダイレクトメールなどを活用しPRに取り組んでいる。  
20代に向けては、今年度からインスタの開設し、フォロワー数が多い県内情報サイトからPRしてもらう取組みを行うほか、山辺町の協力を得てタウン誌に県民の森の情報を載せてもらうなど、幅広い層にPRできるように取組んでいる。(申請団体)
  
- 自主事業として自販機の設置が挙げられているが、キッチンカーの活用など自主事業で収入を拡大するような取組みについてどのように検討しているか教えて欲しい。(委員)
- キッチンカーは出展料をもらっているわけではなく、イベント時に長く施設に滞在してもらい様々なプログラムに参加してもらうことを目的に、山辺町の協力を得て設置したもの。  
収入確保としては、木工品のガチャガチャを設置する取組みを行っている。(申請団体)
  
- 令和5年度の収支報告書では2百万程度の赤字となっているがどのような原因によるものか。(委員)
- 人員体制を充実させたこともあるが、機構職員の全体の賃金を指定管理業務への従事割合に応じ配分した結果、人件費が増えたことによるもので、指定管理業務そのものが赤字になっているわけではない。(申請団体)
  
- 申請者の財務状況について(委員よりコメント)  
流動比率、自己資本比率をみると安全性の判断基準的には良いとは言えない

が、県や金融機関の支援体制もあり、また、保有している資産も安全性が高いものとなっている。

全体的な財務状況の評価としては普通でよいと思われる。(委員)

### (3) 審査の結果

各委員による採点の集計結果について、「適格審査については、全員が全項目の要件を満たしていると採点し、提案内容については、100点満点のところ、平均点が72点である」旨を事務局が報告した。(集計結果に対する質問、意見は無し。)

### (4) 採決

各委員から、申請団体を指定管理者の候補者とすべき者として選定することについて、了承を得た。

#### <主な評価点>

- 地元山辺町からイベントへの出店や県民の森のPRに協力してもらうなど、地域との連携について高い評価を得た。
- イベント時の飲食ブースの設置による利便性の向上や利用者ニーズに応じてデイキャンプ体験を取り入れるなど、サービス向上を図るための取組みについて評価された。

以上